

# せき損センターだより No.75

2023年8月1日発行

北九州市 布刈神社 関門橋

## 理念

「受診してよかった」と思われる病院でありたい

## 基本方針

- 1 脊髄損傷の専門病院であることを自覚し、救命救急の初期治療から社会復帰まで一貫した医療を行います
- 2 患者さんの人権を尊重した医療を実現します
- 3 安全で良質な医療を行います
- 4 高度な脊髄損傷医療の普及に努めます

## 第42回せき損センター夏期セミナー

副院長 河野 修



当センター主催の夏期セミナーも今年で42回を迎えました。豪雨による中止やコロナ禍でのWEB開催（現地とのハイブリッド開催）などもありましたが、今年も昨年同様に現地開催を行うことができました。49名もの先生方に参加していただきましたが、今年は例年にも増して若手の参加が多く頼もしく思いました。同じ専門分野を志す若者と熱く語り合うことは、ベテランと言われる年齢に差し掛かってきた我々にとって大変嬉しいことだと、最近特に感じるようになりました。

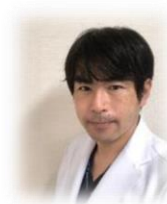
特別講演の講師には、亀田総合病院脊椎脊髄外科部長の久保田基夫先生をお招きしました。脳神経外科医の中でも脊椎脊髄手術の経験が大変豊富な先生で、その経験から「What we thought, what we did. 困難な症例への挑戦・失敗から学んだこと」とのタイトルでご講演頂きました。ユニークな発想による手術や病態の本質を見極めた治療方針など、大変貴重な話が聴けました。また、失敗を後輩に伝えるべく正直にお話しされる姿勢には感銘を受けました。

当センターは整形外科と泌尿器科の専門スタッフ数が他の病院に比べて多いのが特徴ですが、ベテラン、中堅、若手とバランスを取りながら新陳代謝を図っています。整形外科に関しては現在、指導医が7名在籍しており、7名の非指導医とともに症例を担当しています。高水準の脊椎外科治療を行いながら若手の指導も行えるというバランスの良い環境が整っています。常勤医として当センターを支えるスタッフばかりではなく、2～3年間当センターで修行をした後に機関病院の脊椎外科チーフとして活躍している医師もいます。短期間で実力をつけたい若手には最高の環境が整っていますので、脊椎外科に興味がある若手がいたら当センターを勧めてみてください。やる気がある若手と共に成長したいと思っていますのでよろしくお願ひします。



# 腰痛症に対する運動療法と新しい治験の紹介

リハビリテーション科部長 林 哲生



腰痛症に対する治療法のうち、運動療法は非常に重要なアプローチです。医師がこれらの治療法を適切に理解し、患者に効果的に指導することが患者の回復と予防につながります。すなわちリハビリテーションの方法を患者さんに教育指導していくことが重要です。

**運動療法:** 運動療法は腰痛症に対する保存治療の中で、最も重要な要素の一つで、確立された高いエビデンスがある治療法です。運動を通じて腰部の筋力を強化し、柔軟性を向上させることで、患者の症状を軽減し、再発を予防することができます。運動療法の目的は、腰の周囲の筋肉を強化することです。特に腹部や背部の筋肉を重点的に鍛えることで、腰の安定性を向上させ、負担を軽減します。体幹の強化は、腰痛症の改善だけでなく、日常生活の動作や姿勢の改善にも寄与します。そして運動療法は、個々の患者に適したプログラムを立案することが重要です。患者の年齢、身体の状態、運動経験などを考慮し、無理のない範囲で運動を実施するよう指導します。継続的なモニタリングと進捗の評価を行い、必要に応じてプログラムを調整することが患者の成功につながります。

**患者教育:** 患者教育は、腰痛症の治療において欠かせない要素です。患者が自らの症状や治療法について理解を深めることで、治療の効果が向上し、治療プランへの満足度が高まります。医師は、患者に腰痛症の原因やメカニズム、治療の目的や効果について分かりやすく説明し、患者が自身の状態を理解することで、治療への積極的な参加と協力が期待できます。また、日常生活での姿勢や動作の改善についての指導も重要です。患者に適切な姿勢や動作を身につけてもらうことで、腰部への負担を軽減し、再発を予防することができます。

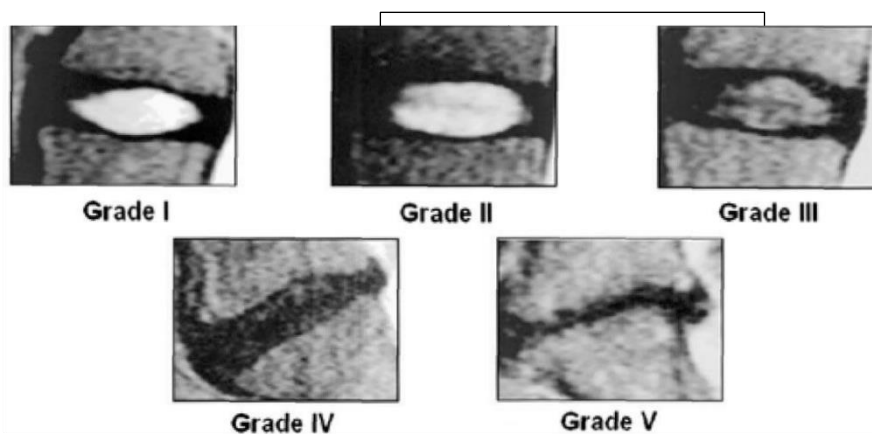
運動療法と患者教育は、腰痛症に対する治療の基本となるアプローチです。医師が患者に対して運動療法を適切に指導し、患者教育を行うことで、患者の症状の軽減や再発予防に効果的な結果が期待できます。そして患者の個別の状態や要望を考慮し、適切なプランを立案することが成功の鍵となります。患者とのコミュニケーションを大切にし、共に目標を設定して取り組むことで、良好な治療成果を得ることができるでしょう。

次に、腰痛症に対する新しい治験のお知らせです。現在、総合せき損センターでは慢性腰椎椎間板性腰痛(単一の椎間板変性)の患者様の治験を行っております。慢性腰痛治療の一つの選択肢になり得る、画期的な薬の治験です。治験のクライテリアは、MRIにて単一椎間の椎間板変性のみで、Pfirman 分類(図1)で grade 3 もしくは 4 のみの患者様に限られているため、おそらく若い人に限られてくるものと思われます。椎間板ヘルニアや分離症などの疾患を併せ持つ方は除外となります。治験の概要は図2の要領で行われます。該当する患者様がいらっしゃいましたら、お気軽に外来受診してください。是非とも宜しく願いいたします。

図1 Pfirrmann 分類

Pfirrmann の分類				
グレード	構造	髄核と線維輪の区別	信号変化	椎間板の高さ
1	均一, 白色	明瞭	高	正常
2	不均一 with or without horizontal band	明瞭	高	正常
3	不均一, 灰色	不明瞭	中	正常からわずかに減少
4	不均一, 灰色から黒	消失	中	正常から中等度減少
5	不均一, 黒	消失	低	椎間板腔の崩壊

(大瀧ら J.SpineRes.11:890-896,2020 より抜粋)



([https://operativeneurosurgery.com/doku.php?id=pfirrmann\\_grading\\_system](https://operativeneurosurgery.com/doku.php?id=pfirrmann_grading_system))

図2 治験の概要

対象疾患	慢性椎間板性腰痛患者(単一の椎間板変性)
相	第Ⅱ相
試験デザイン	多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対象、並行群間比較
治験期間	スクリーニング検査1回、治験薬単回投与、後観察10回 全観察期間は12ヶ月
治験薬投与方法	透視下で1mLを椎間板内投与
治験エントリー期間	2023年5月～2024年12月予定

# 「脊髄損傷者の尿路管理」

## 無料オンデマンド配信のお知らせ

中央リハビリテーション部 主任理学療法士 佐々木貴之



日本脊髄障害医学会から依頼を受け、日本リハビリテーション医学教育推進機構・日本リハビリテーション医学会と共同で、『脊髄損傷者の尿路管理』の無料オンデマンド配信を行っています。このような動画を e-learning として公開するのは初の試みでした。実践的な動画コンテンツになっていますので是非ともご覧ください(2024年3月まで無料配信)。

当院の医師、看護師、理学療法士、作業療法士がそれぞれの視点で動画を作成しています。内容は右のプログラムをご参照ください。

閲覧には、日本リハビリテーション医学教育推進機構 HP (下記 URL もしくは QR コード) のトップページから「研修会の案内」にお入りください(現時点ではトップページに掲載中)。



日本リハビリテーション医学教育推進機構

<https://jrmecc.or.jp/>



受講希望者は受講者情報を登録していただきますと、無料で視聴可能となります。

» お申込み(機構の受講者番号をお持ちの方)

» お申込み(初めての方)

※機構の関連団体・学会以外の方でも「その他」を選択しての登録でご視聴いただけます。

運営	日本リハビリテーション医学教育推進機構	
所属団体	<input type="checkbox"/> 日本リハビリテーション医学会	<input type="checkbox"/> 日本急性期リハビリテーション医学会
	<input type="checkbox"/> 日本生活期リハビリテーション医学会	<input type="checkbox"/> 日本義肢装具学会
	<input type="checkbox"/> 日本脊髄障害医学会	<input type="checkbox"/> 日本集中治療医学会
	<input type="checkbox"/> 日本股関節学会	<input type="checkbox"/> 日本在宅医学会
	<input type="checkbox"/> 日本リウマチリハビリテーション研究会	<input type="checkbox"/> 京都リハビリテーション医学研究会
	<input type="checkbox"/> 日本スティミュレーションセラピー学会	<input type="checkbox"/> 日本骨髄間葉系幹細胞治療学会
	<input type="checkbox"/> 日本骨転移研究会	<input type="checkbox"/> 日本慢性期医療協会
	<input type="checkbox"/> 日本リハビリテーション病院施設協会	<input type="checkbox"/> 回復期リハビリテーション病棟協会
	<input type="checkbox"/> 慢性期リハビリテーション協会	<input type="checkbox"/> 地域包括ケア病棟協会
	<input type="checkbox"/> 全国老人保健施設協会	<input type="checkbox"/> 日本理学療法士協会
	<input type="checkbox"/> 日本作業療法士協会	<input type="checkbox"/> 日本言語聴覚士協会
	<input type="checkbox"/> 日本義肢装具士協会	<input type="checkbox"/> 日本耳鼻咽喉科学会
	<input type="checkbox"/> 日本CAOS研究会	<input type="checkbox"/> その他
国家資格	<input type="text"/>	

一般社団法人 日本リハビリテーション医学教育推進機構

## 【特別企画】無料配信「脊髄損傷者の尿路管理」研修会

※オンデマンド配信

配信期間 ～2024年3月31日

受講料 期間限定無料

受講対象 医師、看護師、専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など）、その他



高橋 良輔 泌尿器科部長

### 脊髄損傷患者の排尿管理 ～泌尿器科医の視点から～

- ・排尿管理法選択の流れと留意点
- ・蓄尿機能障害に対する検査と対処法



尾下 美保子 皮膚・排泄ケア特定認定看護師

### 脊髄損傷患者の排尿自立支援 総合せき損センターにおける取り組み

- ・脊髄損傷者の受傷から退院までの流れ
- ・排尿自立支援の取り組み



佐々木 貴之 主任理学療法士

### 脊髄損傷患者の排尿動作へのアプローチ ～理学療法士の視点から～

- ・排尿管理方法の疫学
- ・清潔間欠導尿に必要な排泄関連動作



小宮 雅美 主任作業療法士

### 脊髄損傷患者の排尿動作へのアプローチ ～作業療法士の視点から～

- ・排尿管理方法への介入の流れ
- ・自助具・衣服の改良、指導のコツ

# 医用工学だより

研究室

～福祉用具の豆知識～

BS 対応にしたテレビトコール



医用工学研究室 寺師良輝

## テレビトコール

テレビトコールは、テレビリモコン機能を持つナースコールスイッチです。総合せき損センターではスイッチ一体化型（図 1）が多く使われていますが、標準型（図 2）も一部使われています。スイッチの短押し（～1秒）でチャンネルアップ、半長押し（1～3秒）で電源、長押し（3秒～）でナースコールといった具合に押し時間の長短で3つの機能操作ができます。総合せき損センターと、しまだ福祉用具研（北九州市・廃業）が共同開発（平成17年）し、トクソー技研（宇佐市）が継承販売していた製品です。メーカーでの製造販売は終了していますが、入院棟で継続使用されているので、機能を限定した院内専用品を医用工学研究室で製作提供しています。院内専用品では、メーカー製品にあった各社テレビ対応、長押し時間変更、電池交換時期の知らせを省いたシャープ社テレビに特化した仕様になっています。

メーカー製品後期モデルでは、モード変更で地上デジタル⇔BS切り替えが可能ですが、操作がやや煩雑で設置希望を受けることが少なく、この放送切り替えモードはほぼ使われていません。このモデルでは、スイッチの短押し（～1秒）でチャンネルアップ、（1～3秒）で地上デジタル⇔BS放送切り替え、（3～5秒）で電源、長押し（5秒～）でナースコールの4つの機能操作ができます。

このたび、従来モデルと全く同じ操作で地上デジタル、BS放送のチャンネル変更が可能なりニューアルモデルを開発したのでご紹介します。

## 現在のチャンネル変更

現在は、スイッチの短押し（～1秒）がテレビリモコンのチャンネルアップボタン押しの操作となっています（図3）。押すごとにチャンネルアップしていきます。地上デジタルになっていれば地上デジタルだけ、BSになっていればBSだけ操作となります。地上デジタル⇔BSの放送切り替えはできません。

## 新しいチャンネル変更

リニューアルモデルでは、従来モデルと全く同じ操作で地上デジタル、BS放送のチャンネル変更が可能です。スイッチが押されるごとに1ボタン→2ボタン→3ボタン押しの操作という具合にチャンネルを進めることができます（図4）。地上デジタルが一巡したところで、次のスイッチ押しでは、BS放送切り替えボタンと1ボタンの信号が続けて送出されることで、放送切り替えを意識することなくBS選局ができるようになっています。同様にBSが一巡したところで、次のスイッチ押しでは、地上デジタル放送切り替えボタンと1ボタンの信号が続けて送出されます。

## 外部への提供

このモデルは、市場規模が極めて小さいことから院内専用品としていましたが、他施設からカスタマイズ品の導入希望が寄せられ、提供方法を調整しているところです。導入希望がございましたら、個別に対応させていただきますので、ご連絡くださいますよう、お願いいたします。

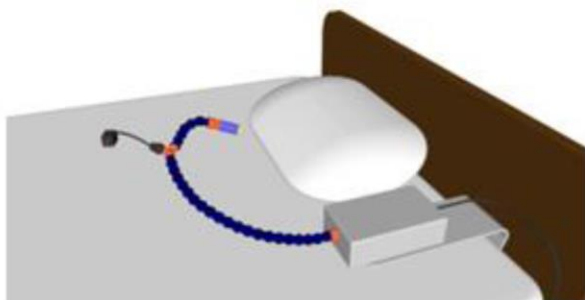


図1 テレビコールスイッチー体型



図2 テレビコール標準型

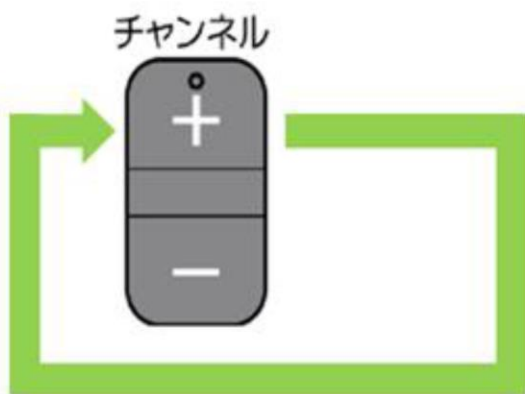


図3 現在のチャンネル変更

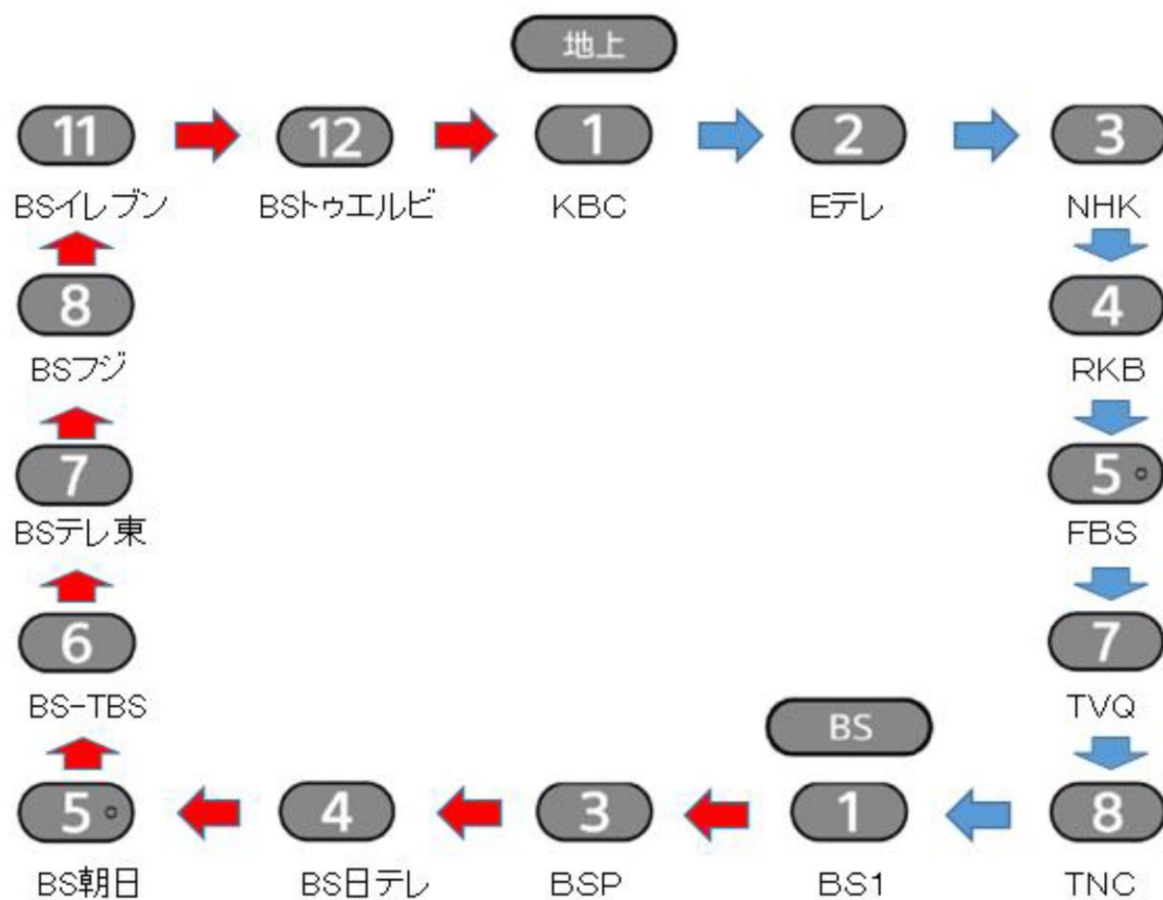


図4 新しいチャンネル変更

# 外来担当表

令和5年4月1日～

曜日	月	火	水	木	金
整形外科 (再診のみ予約制) リハ科	藤井	林	有田	林	益田
	森下	交代制	森下	藤井	交代制
	坂井	有田	久保田	坂井	久保田
	畑	畑	交代制	入江	入江
再診のみ	久保田				
泌尿器科 (再診のみ予約制)	高橋	今田	高橋	今田	高橋
	今田	高橋	今田	高橋	今田
女性泌尿器科外来	毎週/水、木曜日 受付/13:00～15:00				

○ 診療科  整形外科  泌尿器科  リハビリテーション科	診療受付時間 (月曜日から金曜日) 新患 8:30～10:30 再来 8:30～11:30 (泌尿器科は11:00まで)
	休診日 土・日曜日及び祝日 年末年始(12月29～1月3日)
	宿泊施設 遠方からの受診者宿泊施設として厚生棟(はなみずき)をご用意しております。ご利用の方は総務課までお申し出ください。 (申込受付時間:平日8:30～17:00)

- ◎泌尿器科は再来のみ時間帯予約制です。 TEL0948-24-7500 (14～16時予約・変更受付)
- ◎整形外科は再来のみ時間帯予約制です。 TEL0948-24-7500 (14～16時予約・変更受付)

### 周辺地図

福岡方面  
からお越しの方

**JR+西鉄バスの場合**

- JR「博多駅」→(福北ゆたか線/快速40分)→「新飯塚駅」下車
- 西鉄バス「新飯塚駅」→(飯塚行き等/10分)→「飯塚バスターミナル」にて乗換
- 「飯塚バスターミナル」→(伊川温泉行き/20分)→「せき損センター」下車
- (坂の下行き/20分)→「東伊川」下車→徒歩10分

北九州方面  
からお越しの方

**JR+西鉄バスの場合**

- JR「小倉駅」→(鹿児島本線/20分)→「折尾駅」にて乗換(新飯塚駅直通也有)
- 「折尾駅」→(福北ゆたか線/40分)→「新飯塚駅」にて下車
- 西鉄バス「新飯塚駅」→(飯塚行き等/10分)→「飯塚バスターミナル」にて乗換
- 「飯塚バスターミナル」→(伊川温泉行き/20分)→「せき損センター」下車
- (坂の下行き/20分)→「東伊川」下車→徒歩10分



SPINAL INJURIES CENTER  
独立行政法人労働者健康安全機構  
総合せき損センター

〒820-8508 福岡県飯塚市伊岐須550-4  
TEL0948-24-7500 FAX0948-29-1065  
ホームページアドレス <https://sekihonh.johas.go.jp/>  
発行責任者: 院長 前田 健